

日本語養成講座



▲第2回 講師 米勢治子さん 地域の多文化共生・日本語教室の役割



▲第1回 講師 鈴木勝代さんとゲストを招いて交流

外国ルーツの方とはなしをしよう
く日本語教室ボランティア始めの一
歩を開催しました。

近年、大口町でも外国にルーツの
ある方が増えています。そんな現状
の中、地域を支え合う仲間として、
お互いの文化を理解し合い、交流し、
日本語の習得および身近な生活サ
ポートをおこなう日本語教室のボラ
ンティアを養成するため、3回の講
座を開催しました。

日本語教室は外国にルーツを持つ
皆さんと一緒に楽しく運営されてい
ます。随時ボランティアを募集して
いるので、関心のある方は訪れてみ
てはいかがでしょうか。

問合せ先 まちなつと大口

☎ 95-6642



▲第3回 講師 酒井美賀さん
どんな日本語教室にしたいか話し合い

秋の伝統芸能発表会 多世代が集う憩い広場



大口町では、江戸時代から各地区
で獅子神楽を神社に奉納し、村内安
全、五穀豊穡を祈願しお囃子(笛太鼓)
や木遣りなどお祭りをおこなってき
ました。

現在、豊田獅子囃子保存会、河北
木遣保存会・上小口伝統芸能保存会、
中小口伝統芸能保存会が継承に取り
組み、大口町主催の伝統芸能発表会
(秋・春)に出演しています。

今年も北地域自治組織主催の「多世代
が集うまつり」が同時開催され、幅広
い世代が地域の文化を楽しみました。

ご寄贈ありがとうございます

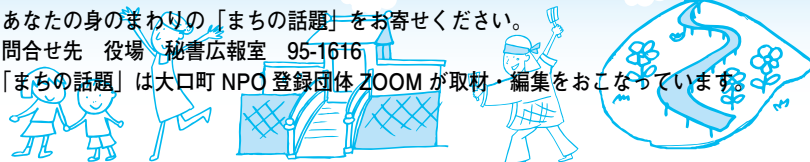


愛知県労働者福祉協議会尾張北支
部から地域貢献として、交通安全横
断旗272本をご寄贈いただきました。
た。

町内の各保育園・幼稚園の活動で
使用したり、地域の見守りボランティア
の方に使っていただくなど、大口
町の交通事故防止の取り組みに活用
させていただきます。ありがとうございました。

10/11
金

10/27
日



ふれあいまつり2024



11月2日（土）、3日（日）ほほえみプラザ周辺で「ふれあいまつり2024」が開催されました。

まちづくり団体、子ども会、小中学校PTAや企業、行政が協力して、さまざまな催しを出展。多くの人たちとのふれあいの場となりました。

「初日は、残念なことにあいにく雨で開催時間を繰り上げました。2日目は青空がまぶしいくらいの晴天になり、多くの方が訪れてくれてスタッフも喜んでいます」と、ふれあいまつり実行委員長天野信和さん。

国民スポーツ大会 陸上競技に出場

岐阜県立岐阜商業高等学校1年 佐藤美波さん（大口中学校出身）が



10/21
月

第78回国民スポーツ大会 SAGA 2024 陸上競技 少年男子B円盤投の部に出場し、11位の成績を収め、鈴木町長へ報告に訪れました。小学生の頃は野球と水泳をしてきましたが、お姉さんの影響で6年生の10月ごろから投てき種目を始め、中学校では陸上部に所属し、砲丸投で全国大会に出場するなど、好成績を残してきました。

今後は、円盤投と砲丸投の2種目でインターハイと国民スポーツ大会入賞を目指したいと意気込みを話しました。

南保育園でさつまいも掘り



南保育園でさつまいも掘りがおこなわれ、年長児から年少児が、南保カールデンの野菜作りをお手伝いしている南食育サポートの皆さんと一緒に、さつまいもの収穫を体験しました。

園児たちは、軍手をはめて土を掘り、さつまいもが見えると「あつた!」「とれた!」「大きい!」と大きな歓声を上げ、獲れたてのさつまいもを友だち同士見せ合っていました。収穫したさつまいもは給食に出され、美味しくいただきました。

10/25
金

災害対応向上にかかる低圧LPガス発電機の贈呈式



丹羽石油ガス協同組合から、災害時に電気復旧までの電力確保をおこなう中で、災害に従事する職員が活用するための発電機1台が寄贈され、贈呈式がおこなわれました。

「令和6年能登半島地震で大きな被害を受けた珠洲市からの支援要請で発電機を届けました。災害時、通信手段のための電源確保が非常に重要だと聞きました」と鈴木町長。

これを機に、今後、避難所などに発電機を備えることが検討されました。

10/16
水

海外派遣報告会

令和6年度にシンガポール・マレーシアへ派遣された派遣者による報告会を開催しました。

派遣者は、派遣で得られた学びや



気づきを交えながら報告し、それぞれ今後の目標宣言をしました。短い派遣期間でしたが、現地で多くの人と関わることで伝える力、理解する気持ち、積極性など多文化共生への一歩、そして自分の成長への一歩を踏み出したことが伝わりました。

また、過去の海外派遣経験者「大口町NPO団体もやい」との交流会をおこない、先輩派遣者の海外派遣の経験がどのように今にいきているかを聞くことで、将来へのイメージも膨らんだのではないかと思います。

10/19
土

「自宅でも備えを」意識高まる北地域防災訓練



▲自宅での非常用トイレの使い方

北地域自治組織主催で、南海トラフ巨大地震を想定した避難・防災訓練が大口北小学校でおこなわれ、多くの地域住民が参加しました。

消防署や自衛隊、企業、行政、防災に関わる多数の団体の協力でおこなわれた訓練。8月には南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されたこともあり、参加者は熱心に訓練に取り組んでいました。

10/19
土

南地域福祉セミナー



ほほえみプラザで南地域福祉セミナーがおこなわれ、約50名が参加しました。

「健康寿命ってナニ?」「健やかにいきいきと過ごすヒケツ」の講話と「体験!!いきいき100歳体操」で体を動かしました。

健康寿命とは、「健康で生きられる期間」のこと。セミナーでは「バランスのよい食事をとること」「体を動かすこと」「十分な睡眠」が元気な体を維持することと学び、日頃の健康管理を見直すきっかけとなりました。

10/19
土

ふれて、学んで、作って 来待石博士になろう

姉妹都市の島根県松江市にある来待ストーンミュージアム学芸員の古



川寛子さんを講師に招き、中央公民館研修視聴覚室で「ふれて、学んで、作って 来待石博士になろう」の講座が開催されました。

講座では来待石について説明を聞き、スノードームづくりを通じて1400万年前の来待石が誕生したころの環境について学びました。また、来待石で思い思いのペンダントもつくり、来待石が加工しやすい性質の石であることを実感しました。

10/14
月